



どんどん出前
するけんな～

令和5年5月29日に鳴門教育大学附属小学校へ出前教室に行ってきました。

同校6年生に対し、当庁の検察官が「検察庁の役割、事件捜査、裁判、刑事事件の流れ」などについて説明しました。

授業の1コマをお借りしての約45分間、説明者の検察官は資料や自身の経験を交えて話をしましたが、その間、生徒の皆さんは、真剣に耳を傾けてくれていました。

鳴門教育大学附属小学校の生徒の皆さん、先生方、貴重な時間をいただきありがとうございました！
(検察広報官)

後日、生徒の皆さんから、我々にとって励みになる感想をたくさんいただきましたので、少しご紹介させていただきます。

- 実際にほとんど会うことのない検察官に会うことができ良かった。
 - 初めて知ったこともあり、面白かったです。家族にも伝えたいです。
 - 起訴するというのもとても慎重にしなければならないということが印象に残りました。
 - 検察庁について、全然知らなかったことがわかり、とても関心を持ちました。少し、検察官になってみたいと思いました！
 - めったにお話しできないと思うのでとても感謝しています。夢中になりました。
 - 「社会正義の実現」と聞いてすごく頼もしく感じた。
 - 「平和のために働いてくれている」と感動した。
 - ドラマや映画で捜査や裁判の立会をしているのは知っていたけど、刑罰の執行も行うということは初めて知りました。
- などなど、他にもたくさんの感想をありがとうございました。

どうも
ありがとう！

